



第49回 サラブレッド大賞典

9/14 良 10R		北陸四県畜産会長賞		2000m
2	ケージキンカ	472	平瀬城	2120 1 (3)3(2) 39.6
7	デュイ	452	吉田晃	2 2124 8 (1)1(1) 40.3
10	アキレウス	522	桑野等	4 2133 6 (7)7(3) 39.0
4	プラチナパディ	455	米倉知	1 2135 3 (9)9(4) 38.8
6	ハヤグリーンウ	419	藤田弘	9 2154 7 (1)1(1) 39.0
3	アンソルスラン	420	沖野男	11/2 2157 11 (1)1(1) 40.3
11	デジタルアゲン	507	中島龍	11/2 2160 10 (8)9(8) 41.0
5	サンセバスチャ	474	青柳正	2 2164 5 (5)5(4) 43.3
8	レッドローズキ	463	葛山晃	3 2171 4 (4)3(6) 43.7
1	ディアブレイズ	482	吉原寛	1 2173 2 (6)6(5) 43.9
9	フューチャース	477	畑中信	4 2182 9 (2)2(3) 45.8

ハロン	13.20	前半	40.4	上がり	52.6	39.9	スロペース
枠連複	②-⑥	840円	枠連単	②-⑥	620円		
馬連複	②-⑦	1,390円	馬連単	②-⑦	1,150円		
3連複	②(7)⑩	4,210円	3連単	②(7)⑩	7,230円		
S前	7,9,2,8,5,1-10,11,4,3,6						
2角	7,9,(2,8),5,1-10,11,4,3,6						
3角	7,2-9,5,1,8,10,4,11,6,3						
4角	(7,2)=10,(5,4),1,9,11,8,6,3						



もう同期に敵は見当たらず
②ケージキンカメ。次回は
白山大賞典(GⅢ)挑戦か？



今回は併せ馬でしっかり調整
逃げて渋太さ発揮⑦デュイ
ケージに2馬身なら大健闘



今シーズンはケガで乗れぬ時期
もあった平瀬城久騎手。感激
ひとしおも、大役果たしホッ！



金満時代に
ベストジョッキーを狙うラン



夏負けから良化途上で本番
⑩アキレウス。さすがに自慢
の末脚不発も底力は示した

金沢競馬の3歳チャンピオンを決める一戦。すでに古馬相手の重賞で勝ち負けを演じている②ケージキンカメにはまさに負けられぬ一戦。はたしてスタートから飛び出した②ケージ・平瀬Jは外から⑦デュイ・吉田J、⑨フューチャースター・畑中Jが行きたがると、スッと下げ好位の内々。ペースダウンした事で先団8頭はひと塊に…。動きが出たのは2角回ってから外に持ち出した②ケージキンカメ・平瀬Jが前を捉えに行く。後続も同調するが①ディアブレイズ、⑩アキレウスらの反応が今一つ。3角では逃がっている⑦デュイと②ケージキンカメが後続を引き離す形に…。もうこの時点でこの2頭の何れかに絞られた。そんな印象さえ感じられるほど後続との差。はたして直線はこの2頭の叩き合いになった。逃げた⑦デュイが一歩も譲らぬ奮闘ぶりも、ゴール寸前は底力がまさった②ケージキンカメがネジ伏せた格好。終盤の古馬重賞に向けて楽しみな3歳馬だ。